

フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部
報道部編集

http://www.office-thank.com/~forties/

特集

第37回寿野球全国大会 平成24年5月13日 長野県千曲市



入場行進 今年の旗手は添田選手

会長・監督・記録で大忙し！
お疲れ様でした

当日参加の久保ちゃんとは奥さんと一緒

5月12日(土)五月晴れの昼前、横浜天理ビル前を昨年度リーグ優勝浜友チームを主体に若干の補強を加え、32年目に
して初めて優勝を果たした小林一監督以下総勢19名、フォーティーズ専属唐澤氏運転のバスで信濃路へと出発。今回は監督
も久しぶりに車中の人となり、その中は何時にも増して、ビールだ、お茶割りだと飲んだり食べたり大騒ぎ。野球談義で賑や
かな事、トイレタイムも忙しくPA毎に寄り道も。用意した焼酎はあつという間に空になってしまった。今回は時間に余裕有
りと観光コースを回り道、碓氷軽井沢I.Cで一般道へ中軽井沢から浅間白根火山ルートを通って浅間山の麓、鬼押出園で一
休み。折角の車外の新緑に染まった景色には皆様殆ど興味なし。鳥居峠を経て菅平から上田で何時ものコースに戻り飯島商店
でお土産の買出しを済ませて「梅むら」に辿り着き、女将の笑顔に迎えられる。長年、寿野球、生涯野球、秋のりんご狩り等
故中筋氏がこよなく愛した「梅むら」で、宴会に先立ち天国で見守っている筈の前会長に生前の雄姿を偲んで黙祷を捧げ明日
の健闘を誓う。宴が終っても外の散策はなし。各自部屋で遅くまで又一杯、作戦会議で激論も。それでも皆早起き、朝食も何
杯もお代わりする豪傑に試合もその調子で頼みます。開会式場で久保夫婦と合流。いつも通りのスコアボード前での記念撮影
はちゃっかり奥様にシャッターをお願い。今回は急げ者はなく元気に堂々の入場行進。威勢良く打ち上がる花火を後に試合会
場へ移動。今回初めて我チームの初戦は2試合目に組み込まれ、千曲川のせせらぎを眺めながらバタバタせず余裕を持って強
豪地元臥竜クラブとの対戦に臨む。故中筋氏に優勝の報告が出来るように頑張るぞ。



後ろは大盛り上がり、前の方は寝てます



会長は酔っ払ってカメラを行方不明に・・・



やはり長野の朝はまだ寒い

珍しく観光ルートの鬼押出園で
皆だの酔っ払いで感動なし

●○遠征参加メンバー○●
監督 小林 一三六 主将 斉藤 敏美
斉藤 茂美 有馬 一興
丸山 正蔵 尾野 幹夫
遠藤 守 大西 直良
犬塚 公一郎 中路 恵
久保 恵哉 石川 伸哉
安藤 修一 吉田 信晴
山田 伸久 伊藤 慎悟
持丸 末博 添田 直貴
報道 高須賀 隆 以上19名

Fブロック

45 46 47 48
村 八 臥 横
上 幡 竜 濱
ロ O ク ラ フ
イ B オ ー
ヤ 野 テ
ル ク イ ー
ズ ク ラ ブ
(新 野 ー
潟 球 ー
県 ク ラ ブ
(千 ー
曲 ー
市 ー
球 ー
倶 ー
楽 ー
部 ー
(神 ー
奈 ー
川 ー
県 ー
)

Fブロック 千曲橋緑地グラウンドA(晴れ)

第1試合【ブロック1回戦】

山田 同点中犠飛がエラーを
誘ってサヨナラ勝ち

伊藤慎 貴重な送りバント

(須坂市)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	計	安打
臥竜クラブ	2	0	0	0	0	2	(1)
横濱フォーティス	0	1	0	0	2x	3	(4)
	(0)	(2)	(1)	(0)	(1)		

勝 久保 敗 徳永

MVP: 山田

二塁打: 斉藤茂(横濱)

山ちゃん、やった！
気合入ってたね。

山田

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
①	6 石川伸	1			1
②	8 尾野	1			
③	5 斉藤茂	2	1		
④	7 遠藤	2			
⑤	DH 中路	2			
⑥	2 犬塚	1			
⑦	DH 吉田信	2	1		
⑧	3 丸山	1	1		
	3 安藤	1	1		
PR	持丸				1
⑨	4 大西			1	
	4 添田				
⑩	9 高須賀	1			
	9 伊藤慎				
⑪	1 有馬	1			
	1 久保				0
PH	山田			1	
チーム計		15	4	2	2

※守備位置はスタート時

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
①	8 内山	1			1
②	6 湯本	2			1
③	1 野村	1			
	1 徳永				
④	5 村石				
⑤	4 金井	2	1	2	
⑥	3 元田				
⑦	7 佐藤	2			
⑧	2 市川	2			
⑨	9 玉井	2			
⑩	DH 永井	1			
PH	小林				
⑪	DH 岡部	2			
チーム計		15	1	2	2

初回先発有馬は主審のボール判定厳しく2番の遊飛の1死を挟んで3者に四球を与え行き成り満塁のピンチに、5番金井に旨く左前適時打で2点を与えてしまう(終ってみればヒットはこの1本のみ)。先制された我軍、最強の布陣で臨んだ筈が追う展開での反撃は石川伸、尾野が四球で出塁、それクリーンアップだ同点、逆転かと思われたが何と三振、二飛、二ゴロと力が入って凡打に打ち取られる。2回は犬塚死球、吉田信、丸山内野安打の無死満塁に今度は大量得点の期待も大西の左犠飛の1点のみ。試合時間1時間20分の制約の中投手が立ち直る。負ける訳にはいかない、勝たなければと焦るも空回り。3・4回主力打てず、残り時間一杯この回で終了、総力、最後の力を出せ。この回先頭安藤右前打で出塁、代走持丸即盗塁、添田四球、伊藤慎決死の送りバントが見事に決まり二・三塁。代打山田、打っただけだと緊張の一振りはセンター頭上に。持丸タッチアップの構え、野手ややバックで捕球体勢がグラブに当てて落球。これを見て二走添田の反応冴える好走塁で持丸に続いて一気に三塁を廻ってホームを駆け抜け歓喜のサヨナラ勝ち。

投手	氏名	回数	安打	三振	四球	失点
有馬	3	1	4	2	2	
久保	2	0	3	1	0	
チーム計	5	1	7	3	2	

投手	氏名	回数	安打	三振	四球	失点
野村	3	3	3	2	1	
徳永	1 1/3	1	1	0	2	
チーム計	4 1/3	4	4	2	3	

第2試合【Fブロック2回戦】

持丸・久保と繋いで
なんと！ ノーヒットノーランで快勝
持丸・石川伸の連続二塁打

(千曲市)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	計	安打
八幡OB	0	0	0	0	0	0	(0)
横濱フォーティス	2	5	0	0	0x	7	(6)
	(1)	(3)	(0)	(1)	(1)	時間切れ	

勝 持丸 敗 小松

MVP: 持丸

二塁打: 持丸・石川伸・久保・斉藤敏(横濱)

ノーヒットノーラン
です！
打撃でも大貢献。

持丸

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
①	6 石川伸	3	2	2	1
②	8 尾野	3			
③	5 斉藤茂	2			1
④	DH 遠藤	1			
PH	斉藤敏	1	1		
⑤	9 中路	1		1	
⑥	2 添田	2			
⑦	4 吉田信	2			
⑧	4 大西				
	7 伊藤慎	2	1		
	7 山田				
⑨	DH 犬塚	1			
PH	高須賀	1			
⑩	3 安藤	1			
	1 持丸	1	1	2	
⑪	1 久保	1	1		
チーム計		22	6	5	2

※守備位置はスタート時

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
①	8 宮崎	1			2
②	6 荒井	2			
③	2 竹内	2			
④	3 安部	1			
⑤	1 小松	1			
	2 大久保	1			
⑥	5 緑川	2			
⑦	9 宮原	1			
PH	中村	1			
⑧	7 太田	1			
PH	両角	1			
⑨	4 佐藤	1			
PH	古沢	1			
チーム計		16	0	0	2

投手	氏名	回数	安打	三振	四球	失点
持丸	3	0	2	0	0	
久保	2	0	0	0	0	
チーム計	5	0	2	0	0	

投手	氏名	回数	安打	三振	四球	失点
小松	2	4	4	0	7	
竹内	2 2/3	2	0	1	0	
チーム計	4 2/3	6	4	1	7	

持丸・添田のバッテリーは立ち上り先頭の宮崎に四球即二・三盗を決められ、2番、3番を遊飛、安部に四球で2死一・三塁も落ちて小松を三ゴロに打ち取り難を逃れ、以降2・3回は完璧に抑える。2番手久保も1試合目に続いて好投、4回は3人、5回は2死から代打両角の左飛、これを山田落球で生かすも後を抑えて走者はこの1人。持丸も四球の2人のもと無安打無得点で投手陣踏ん張る。一方攻撃は初戦と違い先手を取って勢いに乗る。初回石川伸右前打と盗塁、暴投での三塁、1死後斉藤茂四球、盗塁、遠藤四球の満塁から暴投で労せず先制。続く中路の右犠飛で2点目を加える。2回は下位打線でも羨ましいこのオーダー、伊藤慎左前打、犬塚死球、安藤四球で満塁とし、ラスト持丸鮮やかに左越に、続く石川伸左中間に共に2点適時二塁打を放ち敵失を絡めて決定的な5点を加えFブロックの優勝を決める。浜友小林一監督、古里千曲川の辺で五月晴れの空にサインの手で高々と宙に舞い32年の夢が叶う。前会長の中筋氏に捧げる優勝となった。



小林監督32年目にして2つ目の勲章です。



やっぱり勝負事は勝たないとがんねえ。 皆ご機嫌です。